

夢洲における物流交通対策について

令和4年12月2日
大阪港湾局

万博開催時の物流交通対策（案）

Map showing the port area with terminal gates labeled C1-4, C6,7, and C8,9. A red circle highlights the '夢洲コンテナターミナル' (Umisao Container Terminal) on Umisao Island. Red arrows indicate the shift of operations from Umisao to Saito.

①CONPAS(※)の導入

(ゲート処理時間の短縮等)

- 令和4年8月に2回目の試験運用実施

→ゲート受付時の処理時間60秒削減を確認（69秒→9秒）

- 令和5年度中の本格運用をめざす

(※) Container Fast Passの略

②車両待機場の整備済

(240台分確保)

③ターミナルゲート時間延長

(30分で最大200台分散)

(通常) 平日：8:30～11:30, 13:00～16:30
土曜：8:30～11:30

④荷捌き地の拡張（ゲート増設）

（ゲート前待機スペース100台分確保）

（ゲート増設により、1時間当たり120台削減）

- 令和5年度末完成予定

（写真はイメージ）

⑤咲洲へシフト

⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転

- 令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施

- 令和4年11月に海上運搬による社会実験を実施

②車両待機場の整備

(150台分確保)

- 令和5年3月末完成予定

⑤咲洲へシフト

⑤-1. 船舶着岸場所一時移転

- 令和4年度中にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手予定

⑤-2. 空コンテナ返却場所一時移転

- 令和4年11月に海上運搬による社会実験を実施

«③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲へシフトは万博期間中のみの対策»

資料5 - 1

物流交通対策概略工程（案）

万博
開催

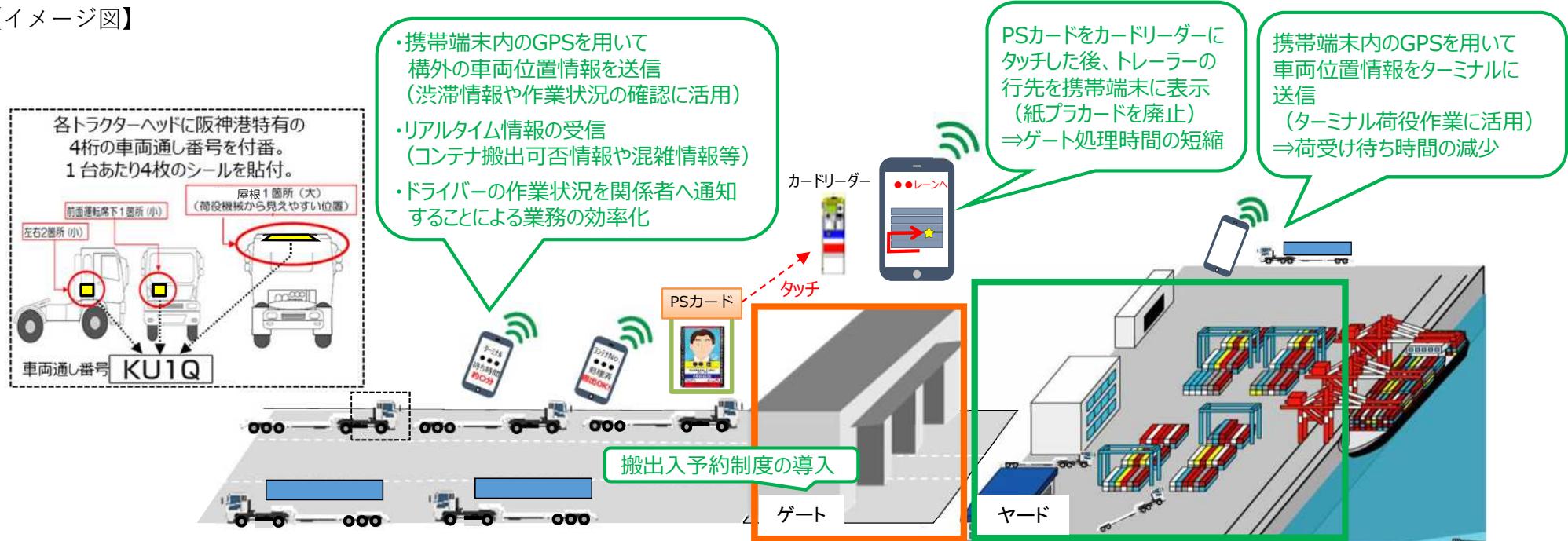
R7.4.13～10.13

項目	概要	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①CONPASの導入	新・港湾情報システム(CONPAS) 夢洲での追加整備	概略・詳細設計、 試験期間中の改修	試験運用等	順次導入	本格運用			
②車両待機場の整備	咲洲での追加整備	詳細設計	工事	R4.1.31～ 供用開始				
③ターミナルゲート時間延長	早朝等ゲートオープン時間の延長	概略設計	詳細設計	工事	○供用開始	社会実験	実施	
④荷捌き地の拡張(ゲート増設)	C12コンテナターミナル拡張※、ゲート増設 (※ 増設ゲート周辺部分)	社会実験 検討・協議等	詳細設計	コンテナターミナル拡張工事	増設ゲート工事	システム導入	運用	
⑤咲洲ヘシフト	船舶着岸場所一時移転 空コンテナ返却場所一時移転	検討・協議等	詳細設計	ガントリークレーン整備	試行期間	本格稼働		
			社会実験 R3.10実施	社会実験		社会実験		

進捗状況1

① 新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【イメージ図】



《導入スケジュール》

- ・令和4年1月27日,28日 夢洲（DICT）において試験運用を実施。➡ システムが問題なく稼働することを確認。
- ・令和4年8月22日(月)～9月2日(金) DICTにおいて2回目の試験運用を実施。
➡ 結果については次ページ参照。

*1,2回目の試験運用の対象：
輸入コンテナ（搬出・実入り）

⇒ 令和5年度中の本格運用をめざす。

※工事車両運行管理システムとCONPASの連携

- ・CONPASにおけるコンテナ車両の事前予約情報（時間帯ごとの搬出入台数）を工事車両運行管理システム側へ提供する等、情報連携に向けて検討中。

進捗状況1

①新・港湾情報システム（CONPAS）の導入

【DICTにおける試験運用の様子】



①CONPAS車の車両待機場到着、予約確認、待機場内専用レーン通行



②ターミナルゲート到着
③INゲートでの入場手続き
(PSカードの読み取り)

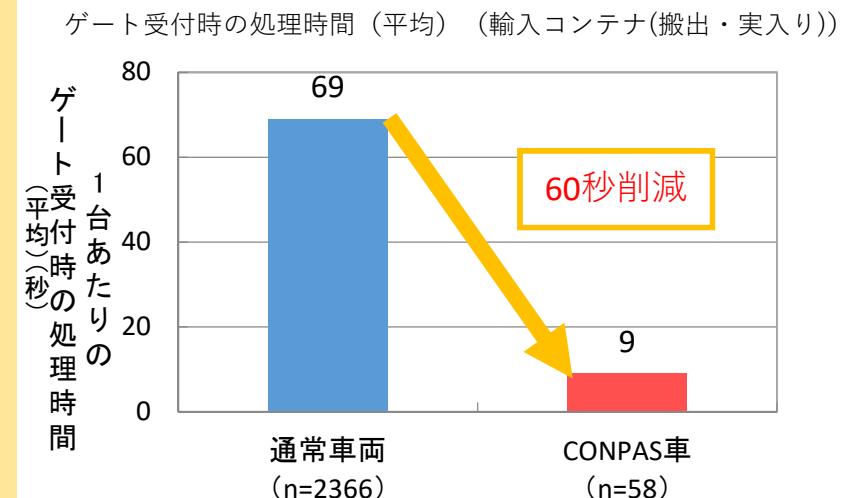


④ドライバーに貸与した携帯端末へのヤード内行先表示
(コンテナ蔵置場所表示)

- ⑤ヤード内でのコンテナ積み込み作業
- ⑥OUTゲートでの退場手続き
- ⑦CONPAS車のターミナル出発

《第2回試験運用 実施概要》

- ・時 期：令和4年8月22日(月)～9月2日(金) (約2週間)
- ・場 所：夢洲コンテナターミナル (DICT)
- ・参加社数：海運貨物取扱業者 11社
海上コンテナ輸送事業者 11社
- ・実施内容：1)営業コンテナ（輸入コンテナの搬出・実入）を
対象としたゲート処理の運用・効率化の検証
2)待機場を活用したCONPAS運用ルールや動線の
確認
- ・予約枠設定：60分枠(基本)、7枠/日、15台/枠
- 予約件数 (実績)：161件
- ゲート受付時の処理時間60秒削減を確認

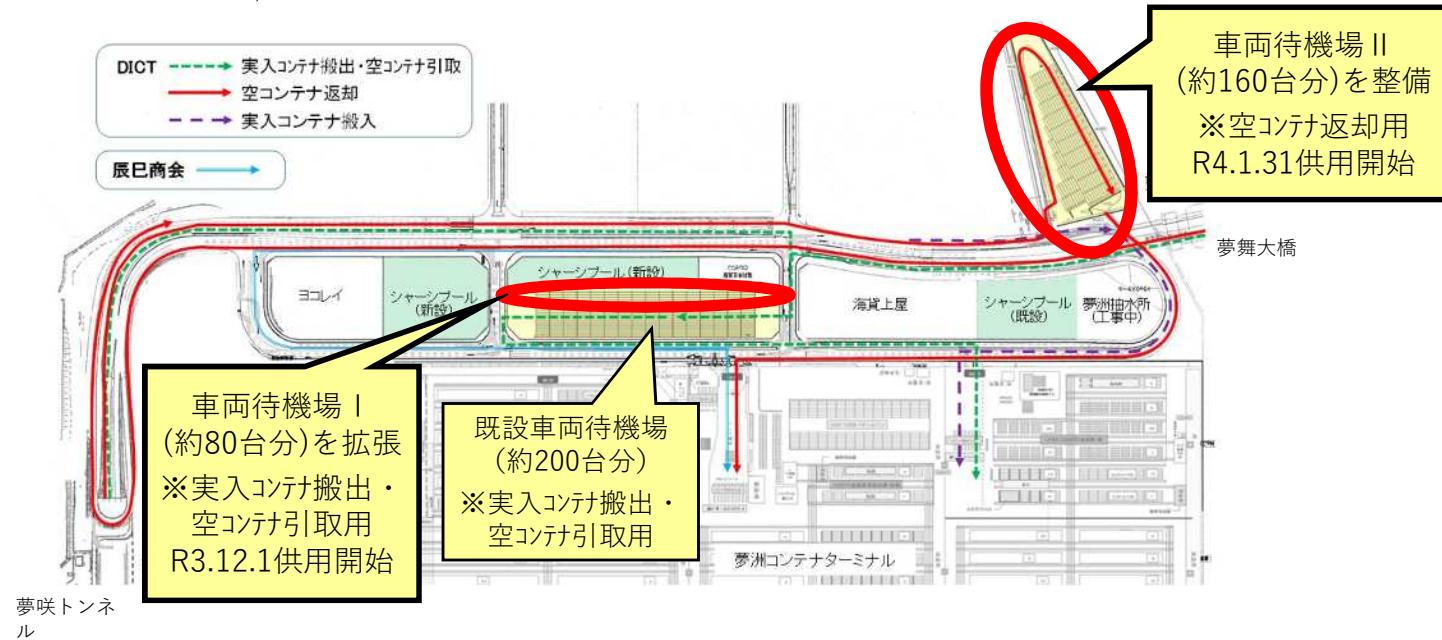


進捗状況 2

② 車両待機場の整備

<夢洲> 令和3年度に約240台分を追加整備し、既設待機場と合わせて合計で約440台分の待機場を確保済み。

→ 幹線道路上のコンテナ車両の滞留列は一定解消。

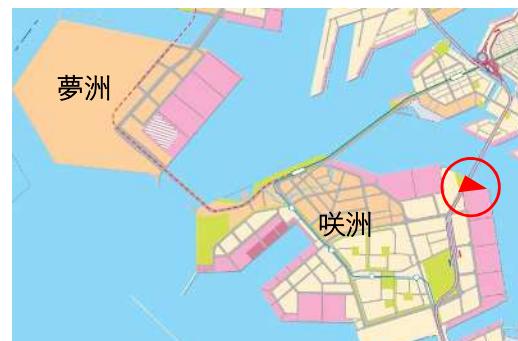


車両待機場Ⅱの使用状況



現在の幹線道路の状況

<咲洲> 車両待機場(150台分)の整備について、令和4年3月工事着手、令和4年度末完成予定。



咲洲車両待機場位置図



工事状況 (R4.10)

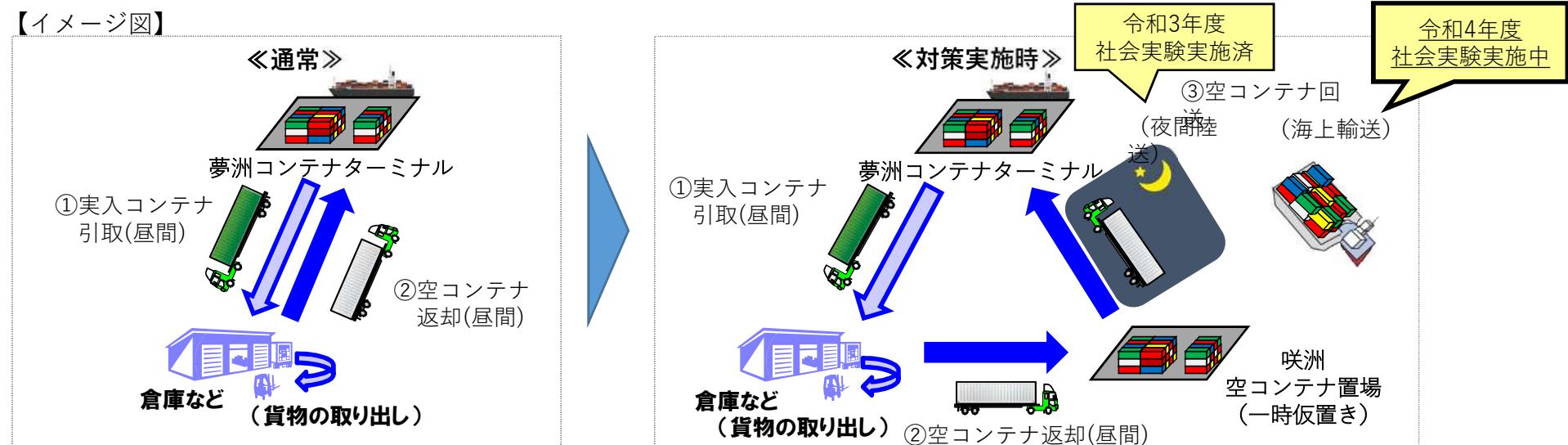
進捗状況 3

⑤-1 船舶着岸場所一時移転（咲洲C6,7埠頭 ガントリークレーン整備）

- 令和4年度中に製作工事に着手予定。※設計業務を完了し、現在は工事契約手続き中（10/3 公告済、12/6 開札予定）

⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転

- 令和3年度に社会実験を実施。→ 13時時点の夢洲道路上待機台数▲21%（155台/日→123台/日）を確認。
- 令和4年度の社会実験について、11月7日より実施中



《令和4年度社会実験実施概要》

● その1

- 実施時期：令和4年11月7日(月)～11月30日(水)
- 実施場所：咲洲C1コンテナターミナル

● その2

- 実施時期：令和4年11月21日(月)～12月16日(金)
- 実施場所：咲洲C6,7ターミナル

- 回送方法：海上輸送



バージ(はしけ)による空コンテナ海上輸送
(咲洲から夢洲へ回送)